

平成 24 年 5 月 30 日

日本糖尿病教育・看護学会会員のみなさま

日本糖尿病教育・看護学会理事長  
嶋森 好子

### HbA1c 国際標準化に関する重要なお知らせ

HbA1c 値の表記について、平成 24 年 4 月 1 日より、国際的に広く使用されている National Glycohemoglobin Standardization Program (NGSP) 値で表記されることとなりました。これまでの Japan Diabetes Society (JDS) 値による HbA1c 比べて、およそ 0.4% 高い値となります。したがって血糖コントロールの指標も 0.4% 高くなります。ただし、特定健診・保健指導では平成 25 年 3 月末までは JDS 値が使われます。

HbA1c を用いてアセスメントする際には、NGSP 値か JDS 値かを必ず確認する必要があります。

当面の間は移行期間として、医療機関等では、NGSP 値と JDS 値が併記されると思われませんが、患者さんに対して、おおよそ 0.4% の値の増加理由について、世界の基準に合わせたのであり、糖尿病が悪化したとは限らないということについて、十分な説明が必要です。また、誤って悪化したと評価されることによる治療方針変更に至る危険性も危惧されるところです。厚生労働省からも平成 24 年 4 月 27 日に都道府県宛事務連絡「ヘモグロビン A1c 測定値の国際標準化に係る対応について」が発出されました (<http://www.info.pmda.go.jp/mdevices/file/md2012-0427001.pdf>)。

糖尿病教育・看護学会会員におかれましては、変更について十分にご理解くださいますとともに、患者、施設内医療スタッフや地域医療機関等に、あらゆる機会を通じて周知をお願いいたします。

日本糖尿病学会の HP (<http://www.jds.or.jp/>) から、患者用ポスター・リーフレット等がダウンロードできるようになっています。これらのうち、「医療従事者用 Z 折リーフレット「診断管理指標編」」(糖尿病対策推進会議監修)につきまして、郵送料実費でご希望の会員に送付いたします。リーフレット送付申込書に必要事項をご記入の上、送料分の切手を添えて、日本糖尿病教育・看護学会事務局までお申し込みください。

日本糖尿病教育・看護学会 特別委員会：NGSP 値 WG

委員長： 任 和子

委員： 大倉瑞代、岡崎優子、菊原伸子、小林美保、肥後直子、両田美智代、  
山崎 歩、青木美智子、数間恵子、中村慶子、森加苗愛、米田昭子

